

みのり句会 兼題『菊根分』

〔選と評〕 ホトトギス同人 福島 テツ子

この色はどこに植えよか菊根分 野口 貴美子

(評) いろんな菊の色どり根分をしながら植え場所に迷っている作者の気持ちが伝わってくる分かりやすい詠みかたに惹かれる

(あいうえお順)

◇雲行きを見さだめ今日は菊根分 秋草 君枝

◇菊根分子の幸いのり鉢七つ 石川 れい子

◇菊根分可愛い芽出て土いじり 江刺 厚子

◇日だまりの笑顔はじける菊根分 小野瀬 俊江

◇白菊の根分楽しみ咲く姿 菅野 信子

◇菜の花の迷路めぐりて花匂う 瓦崎 八重子

◇一日ごと日ざし輝き菊根分 田中 弘子

◇子を送る親の気持ちで菊根分 辻 春夫

◇春風やためいき乗せて花揺らす 富田 果蓮 (高二)

◇春雪や姪の白無垢一体化 中村 くみ子

◇傍らにシャベルを置いて菊根分 榎 卓

◇菊根分土の匂ひにふれながら 福島 テツ子

五月の兼題は、「袋掛 (ふくろがけ)」です。

一人三句ですが、兼題以外でもかまいません。投句の方は、

全句を書いた紙一枚、短冊に一句ずつ、八十四円切手三枚 (参加費)、返信用封筒 (切手と記名) を同封して月末迄に「事務局」に届くようにお送りください。

「句会たまりば」は、第二火曜日、十時半からです。



「支え合う会 みのり」の歩み

- 一九八三年 「稲城の老後を支える会」として発足
- 一九八四年 会食会サービスをスタート
- 一九八九年 「稲城の老後を支え合う会」と改称
毎日型の配食(夕食)サービスを開始
- 二〇〇〇年四月 特定非営利活動法人
支え合う会 みのりと改称
- 二〇〇二年 稲城市委託事業
高齢者食生活改善事業を開始
- 二〇〇三年 稲城市委託事業
かがやき倶楽部みのりを開始
- 二〇一二年 居場所作り「カフェいしださんち」を開始
- 二〇一六年 他機関との地域社会づくり連携事業開始
- 二〇一九年 東長沼に活動拠点を移転

「現在の活動」

- ◎配食サービス (東長沼の拠点で週5回 月々金)
- ◎会食会サービス・クッキングクラブ梨穂 (公共施設等 9会場で月に延べ(十一回))
- ◎ミニデイサービス『たまりば』
- ◎稲城市委託事業(高齢者食生活改善事業)
- ◎訪問サービス
- ◎居場所作り「カフェいしださんち」
- ◎介護予防・日常生活支援総合事業A
かがやき倶楽部みのり
- ◎他機関との連携事業
- ◎広報活動(会報・ブログ) など

この法人は、高齢者の福祉を自分の問題として考え、支え合いの精神で、在宅福祉活動を行い、支える者と支えられる者が対等な立場を保ち、住み慣れた地域に安心して、生き生きと住み続けられる地域社会づくりに寄与することを目的とします。